

産業・組織心理学会 第99回研究会（作業部門研究会）  
現場を探す・現場に入る  
ー成功体験・失敗体験からそのノウハウを学ぶー

2010年12月11日（土） 午後13時00分～16時30分

於：立教大学池袋キャンパス10号館

作業部門の研究において重要なファクターとなるのは、現場（フィールド）に根ざしていることである。現場の観察から研究のニーズを発見したり、現場においてある要因の効果を見極めたり、あるいは、現場に対策を適用したり等々の現場への関わりが研究プロセスのどこかに介在する。また、本学会の設立趣旨が「研究者と実務家、個人と団体の有機的連帯」とうたっているように、「現場」の視点は産業・組織心理学会の他の部門とも共有できる重要なプロセスであろう。

しかし、その一方で、現場を探し、現場に入るノウハウは定式化できるものではないため、教科書を開けば書いてあるという類のものではない。このことが、産業・組織心理学への“新規参入”の障壁となっている可能性は否定できないだろう。

そこで、現場を探し、現場に入るノウハウについてその実際の経験を語り、経験の背後にある暗黙知を共有する契機を提供する場として本研究会を企画した。現場に入る際の注意点についてもあわせて触れることで、現場研究の適正な活性化をはかりたい。

なお、今回の研究会は討論の時間を長くとっている。フロアからの経験談や、協力していただける現場のご紹介等、活発な討論と意見交換の場となるよう、部門を越えて、あるいは学会員以外でも多くの方のご参加を賜りたい。このようなテーマに興味をお持ちの方がいらっしゃれば、お誘いいただければ幸いである。

<話題提供>

13:00～13:15 企画趣旨説明 大橋 智樹（宮城学院女子大学）

<話題提供>

13:15～13:45 災害現場に入る 申 紅仙（常磐大学）

13:45～14:15 医療現場に入る 安達 悠子（大阪大学大学院）

14:15～14:45 鉄道現場に入る 三沢 良（電力中央研究所）

<指定討論>

15:00～15:20 細田 聡（関東学院大学・労働科学研究所）

15:20～15:40 芳賀 繁（立教大学）

<討論>

15:40～16:30 質疑・討議・フィールド紹介 etc...

企画 芳賀 繁・大橋智樹

